

生活経済専攻

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

- DP1 経済学・家政学・政策科学等に関する十分な専門知識を持ち、それらを広範で多様な生活問題の解決に応用することができる。
- DP2 生活そのものが持つ総合性を理解し、経験と理論を発展的に結合させることができる。
- DP3 研究者と市民という視点に立って、生活を取りまく現代社会の諸問題と政策課題を追究できる。
- DP4 生活課題の構造を広い視野で多面的・総合的にとらえ、自らの見解を形成できる。
- DP5 時代の変動に伴う新しい生活課題を主体的に設定する能力を身につけ、必要な専門知識を高めていく努力をし、問題を解決しようとする姿勢を持つ。
- DP6 研究テーマの社会的意義を自覚し、その成果を地域や社会に還元しようとする態度を持つ。
- DP7 論理的に研究の構成を組み立て、学術的表記を用いて論文を作成することができる。
- DP8 研究課題に適した調査・分析手法を修得し、活用できる。
- DP9 的確な表現力、コミュニケーション力をもって、研究成果を発表することができる。